

Trading care

共に生きる 共に働く

2025年 | 2月 | 日

Vol. 67



はてはてい

HATI-HATI



HATI-HATIはインドネシア語で相手を思いやる時に使うやさしいことばです。



毎月恒例の誕生日会を行っています。
10月からは、誕生日の方が中心となって企画するスタイルに変わりました。
今回は、「ふるさと」の歌を歌ったり、さまざまな国の方に母国についてお話を伺ったりして、とても楽しい時間になりました。

日本の100歳以上の人数

<お知らせ>
12月28日～1月5日まで
年末年始のお休みをいただきます。



公益社団法人 트레이ディングケア 塚本 紀之

「敬老の日」を前に厚労省が全国の100歳以上の人数を発表したと中日新聞（9月13日付）に記事が出た。それによると100歳以上の人数は、55年連続で増え続け、今年は9万9763人とのこと。現在67歳の私が20歳のころ、祖母が米寿を迎え「これはすごい事だとお祝いした」記憶がある。周囲を見ても米寿まで生きられた人はあまりいなかった。祖母には子供が5人おり、存命は2人で下が今年米寿となった。鬼籍に入った3人は皆90歳を超えて亡くなった。今や90歳は珍しくない。

もう一つの事例を紹介させていただく。私の住む町内で敬老会が開催された。1500程度の世帯数に80歳以上約470人が地元の小学校体育館に招かれた。今から30年ほど前までは65歳以上の者に敬老会の案内を出していたようだ。お年寄りが多くなりすぎたため、年々、敬老会に呼ぶ年齢を上げていき、なんと80歳に到達したとのことである。

さて、厚労省発表の100歳以上の人数の内、女性が88%で8万7784人、男性は12%で1万1979人とのこと。さらに10万人当たりでは島根県が最も多く168.69人、一番少ないのは埼玉県の48.50人、ずいぶん差があるものだ。愛知県は下から二番目の53.00人であり、決して長寿県ではないらしい。

この数値は信用できるのだろうか？厚労省の数値は一桁まで出しているの間違いはないと私は思ってきた。しかし、今年、国勢調査のスタッフを務めることとなり、3回訪問して会えない場合は「調査票を置いてこればよし」と指導を受けた。これでは漏れてしまう日本人も必ず出る。そうすると100歳以上の人数も実は正確な数値はわからないと思う。

今日の日本語

日本語教師 林 三郎

「やさしい日本語」

10月から、毎週土曜日の受け持ちが「日本語入門クラス」に変わり、奮闘の毎日です。それまでの担当クラスは、日本語レベルが大体N3かN2の大人の方で、日常会話は十分で、学習ニーズも「読解力」を高めたいという方が中心でした。入門クラスの方はN5までの方で、大人だけでなく幼稚園のお子さんもいらっしやいます。

週一回、2時間ほどの学習では不十分ですので、宿題もあります。ひらがな、カタカナの読み書きができるようになり、漢字にも挑戦していきます。

母国語は英語（インド）、ベトナム語、ポルトガル語（ブラジル）と、いろいろですが、同じテーブルで日本語を学習します。家庭での日本語環境や家族環境、職場での日本語環境などがまちまちですので、一律には進んでいけません。そのところが指導側としても悩みの種です。

言語習得には、「読み、書き、聞く、話す」の4つの要素が必要で、クラスでは「読み、書き」を重点に置いて学習します。学習者の方々はほんとに真剣に取り組んでおられます。皆さんの周りに外国の方がいらっしやったら、できるだけ日本語で、気軽に声をかけてあげてほしいと思います。

「聞く、話す」は日常生活で日本人とどれだけ話すかによっても習得に差が出てきます。



Philippines Flag

Philippines War Flag

「この国旗の違いはわかりますか？」

フィリピンの旗

2つの国旗の違いに気づきましたか？一見、普通のフィリピンの国旗に見えるかもしれませんが、実は大きな違いがあります。この違いを知らないと、思わぬ問題につながる可能性があります。通常のフィリピン国旗は、上が青、下が赤で、左側の白い三角形の中に三つの星があります。この三つの星は、フィリピンの三つの主要な島「ルソン」「ビサヤ」「ミンダナオ」を表しています。その中央に描かれた金色の太陽と8本の光は、独立と自由の象徴です。一方で、この国旗の色を逆にして、上が赤、下が青になると、それは「戦争状態」を意味します。このルールはフィリピンの国旗の公式な仕様として明記されており、法律でも定められています。実際に国旗が反転して掲げられたことが過去に2回ありました。

国旗の色には、それぞれ深い意味があります。青色は「平和・真実・正義」赤色は「愛国心と勇気」旗の左側にある白い三角形は「平等と友愛」そして「純潔と平和」を象徴しています。
メリーアン



第38回（令和7年度）介護福祉士国家試験に向けて国家試験対策研修開始

令和7年度より、 트레이ディングケアでは介護福祉士国家試験の受験資格を得るために必須である「実務者研修」を開講いたしました。インドネシア人4名とフィリピン人2名の計6名の方が受講し修了しました。仕事をしながらのE-レポート学習や7日間のスクーリングは大変だったと思います。スクーリングは、楽しく、分かりやすく、国家試験合格へ繋がるような講義内容にしています。また、新しい取り組みとして実務者研修受講者の方を対象に「国家試験対策講座」を11月、12月、1月で計6日間開催しています。介護福祉士の試験については、2026年（令和7年度）の第38回試験から「パート合格制度」が導入されます。これは、受験者の負担軽減と人材不足解消を目的とした新しい仕組みとされています。また、外国人受験者の方にも配慮された制度でもあります。外国人介護士の「夢」「目標」である介護福祉士の取得に向けて、受験者の方たちと一緒に頑張っていきます。応援よろしくお願いいたします。

市川

国家試験対策講習の様子



実務者研修終了後の様子



編集後記

まもなく、インドネシアから15期生3名が入国します。彼らは5月からZoomで日本語学習に参加し、一生懸命日本語を学んできました。先日、高浜市の小学校の多文化共生授業にもオンラインで参加し、インドネシアの紹介をしたり、小学生からの質問に笑顔で答えてくれました。入国後の2か月間の講習では、「自ら考え、自ら発信すること」を大切にしながら、共に学んでいきたいと思っています。公益社団法人 트레이ディングケア 鶴見



@TSUNAGU_TAKAHAMA



公益社団法人 트레이ディングケア
〒444-1303
愛知県高浜市小池町6-5-6
TEL 0566-57-7700
FAX 0566-57-7700
日・月・祝日はお休みです。

